

## 効果

- 乳幼児期からの教育や養育の環境を充実させ、子どもたちの規範意識やコミュニケーション能力を高め、基本的な生活行動や生活習慣を定着させることができる。

## 実践方法

ふるまい向上推進県民運動として展開

【子どもたちには】

- ①自然体験や社会の中での実体験を重視する。  
(地域とのかかわり、家庭での社会行動)
- ②生活リズム、食など生活習慣を改善する。
- ③過度なメディア接触を回避する。
- ④世代間交流の場を設定する。
- ⑤手伝いや清掃活動を推奨する。

【親世代には】

- ①多様な親子行事や催事への参加を呼びかける。
- ②子育てについての不安を除去する。
- ③スキンシップ、厳しさと優しさの意義を啓発する。
- ④しまね家庭の日(毎月第3日曜日)の行動を推奨する。

※この事業における「ふるまい」とは、「礼儀、作法、挨拶、しぐさ、モラル、ルール、躾、道徳、倫理観、生活行動、生活動作、思いやり」の総称。

## 事例紹介等

## ●幼小連携講座

幼保小連携に重点を置いた講座を実施し、小学校への円滑な接続を図る。

## ●小1プロブレム対策事業

幼稚園や保育所の担当者と小学校低学年の教員が情報交換や協議等を行い、幼児教育から義務教育への円滑な接続を図る。

## ●親学プログラム普及・開発事業

親の学びを支える親学プログラム(指導者用手引き書)を普及し、親学ファシリテーターを養成する。

## ●公民館ふるまい向上プログラム

公民館関係者向け研修を開催したり、公民館単位の学習・啓発活動に助成したりする。

## ●乳幼児からの生活習慣づくり事業

モデル地域を指定し、実践研究に取り組むとともに、事例発表会を行ったり啓発資料を配付したりし、普及を図る。

## ●しまね教育の日フォーラムの開催

ふるまい向上に係る取組の総括と県民への周知を図る。

## 問い合わせ先

- 島根県教育庁義務教育課  
TEL 0852-22-5421

- 島根県教育庁社会教育課  
TEL 0852-22-5428

- 島根県教育庁保健体育課  
TEL 0852-22-5426



## 効果

- 家族で楽しく、簡単な電気工作をすることができる。
- 自作ラジオで聴いた感動を味わうことができる。

## 実践方法

## ●部品を準備する。

- ・ゲルマニウムダイオード(1N60)
- ・AM用単連ポリバリコン
- ・コイル(マイクロインダクタ:330μH)
- ・クリスタルイヤホン

※電子部品取扱店で入手できる。  
(全部品を1000円以内で入手できる)

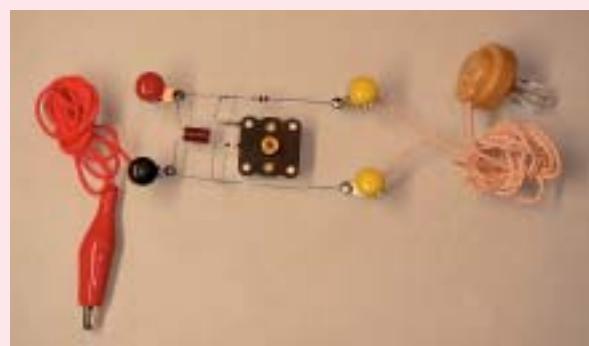
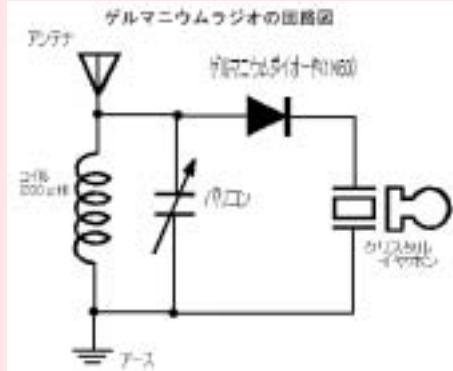
●電気はんだごてを用いて、回路図のように接続する。  
(注)ゲルマニウムダイオードには方向性があるので注意する。

☆小型端子を使うことにより、はんだ付けをしない方法もある。

☆アンテナを工夫して感度をよくしてみよう。

☆電気はんだごてがない場合は、学校に相談してみよう。

## 事例紹介等



## 問い合わせ先

●島根県教育庁義務教育課  
TEL 0852-22-5421

## 【参考となるHP】

- ・「ゲルマニウムラジオ」で検索する。
- ・電気はんだごては学校を通じて出雲科学館から借りることができる。



## 効果

- 家庭で読書の時間をつくり、読書を通したコミュニケーションを図ることで、家族の絆がさらに深まる。

## 実践方法

家読(うちどく)とは…「家庭での読書」の略です。「家庭で読書の習慣を共有」し、「家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話し合う」ことが基本です。

難しいルールはありません。今日から家族で本について話し、夢を語り合いましょう。  
まずは、家族で簡単な約束事を決めて実践してみましょう。

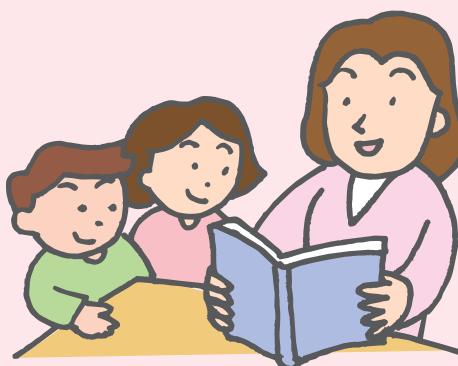
例えば…

1. 同じ本を読む
2. 読んだ本について話す
3. 感想ノートを作る
4. 自分のペースで読もう
5. 家族文庫をつくる など…

## 事例紹介等

家読は単に本を読み合う、という活動でなく、家族の会話により家族の絆を深め、家庭が子どもを優しく包む空間となることを目指した活動です。

物語を読み合うだけでなく、バスケットボールの本を家族で読み合い、語り合い、「島根スサノオマジック」の応援に出かけるのだって、家読になるのです。



## 問い合わせ先

●島根県教育庁社会教育課  
TEL 0852-22-5429  
FAX 0852-22-6218

●島根県立図書館  
TEL 0852-22-5725(代表)  
FAX 0852-22-5728

